

いなみ町

議会だより

No.92
2022.1

令和3年 第4回定例会

- 議案審議 ……………P2～P3 一般質問(5名が登壇)……………P4～P8
委員会報告 ……………P9 印南町社会人野球チーム「黒若」紹介…P10

真妻山山頂より初日の出を望む(撮影のためにマスクを外しています)



11月29日に臨時議会があり、3件の議案を可決しました。

12月の定例会は9日に開会、15日に閉会。

決算認定8件は全会一致で認定、請願1件は採択となり、議案は6件ですべて可決しました。

印南町若者定住促進条例の一部改正

条例の期限が平成34年3月31日となっており、令和9年3月31日に延長するものです。

質疑 内容の拡充はないのですか。

答弁 企画産業課長

今回の延長について、他の自治体の状況も調べましたが、他の市町に比べて同程度以上の補助となつているため、現行制度を延長することに決めました。

一般会計補正予算

印南町飲食・宿泊・サービス業等支援金

質疑 事業の詳細説明を求めます。

答弁 企画産業課長

県の支援に準ずる形で、県の交付決定に上乗せするものです。対象は、県の交付決定を受けた事業者です。県と同額を下記のように上乗せします。常時使用する従業員の数が

- ① 0～5人の事業所で15万円
- ② 6～20人の事業所で30万円

特定空家除却事業費補助金

質疑 当初予算にもあったと思いますが、今回の補正理由を求めます。

答弁 企画産業課長

既に、13件を補助しています。

追加の要望が多数あり、5件分の国庫補助金が確保でき、さらに事業を進めていくためです。

印南町統合中学校建設候補地調査業務委託料

質疑 委託料の詳細を求めます。

答弁 企画産業課長

第1候補地が建設可能かどうかの造成計画、排水計画、土地利用基本計画、工事の概算等の調査費用です。

質疑 今回の調査は第1候補地である宇杉ヶ丘東付近のことですが、候補地選定経過の説明を求めます。

答弁 教育課長

印南町立中学校統合委員会の中で決定しました。第1回統合委員会で各委員に建設場所について意見を求めたところ、広い場所が取れる等の12項目の条件が挙げられました。第2回目の統合委員会で、条件を満たす地

域としては、印南地区ということが全員一致で決まり、3か所が候補地となりました。そのうえで統合委員会事務局から、自然災害のリスクが少ない等の10項目の条件を挙げ、2候補地に絞られ、メリット・デメリットを比較し、統合委員会から町に調査依頼する第1候補地を決定しました。

在宅育児支援助成費

質疑 支援事業を活用する人が増えたことによる補正ですか。

答弁 住民福祉課長

第2子、第3子の出生数が想定を上回っているためです。当初予算では、20名、130か月を想定し、月3万円の予算計上をしていましたが、現在、29名を想定して増額補正しています。

議案に対する各議員の賛否

○= 賛成 ×= 反対

種類	議案 番号	議案内容		黒 井	木 村	岡 本	谷	中 島	片 山	古 川	杉 谷	玉 置	榎 本	前 田	堀 口
条 例	67	若者定住促進条例の一部改正について	条例の期限を迎えることから、 継続するための改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	68	国民健康保険条例の一部改正について	制度改正に伴う改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
予 算	64	一般会計 (第3号補正・専決処分)	医療従事者向け3回目の ワクチン接種のため	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	66	一般会計(第4号補正)	子育て世帯への臨時 特別給付金のため	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	69	一般会計(第5号補正)	印南町統合中学校建設候補地 調査業務委託料等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	70	後期高齢者医療 特別会計(第2号補正)	負担金確定による調整、精算等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	71	介護保険事業特別会計 (第2号補正)	制度改正の事務費の補正等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	72	水道事業会計(第3号補正)	水道機械機器設備修繕費等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願	3	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
他	65	工事請負契約	切目漁港海岸高潮対策	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
決 算	認定 1～8	令和2年度各会計の 決算認定	一般会計 国民健康保険事業特別会計 後期高齢者医療特別会計 介護保険事業特別会計 滝ノ岡専用水道特別会計 農業集落排水事業特別会計 同和対策新築家屋貸付金特別会計 水道事業会計	決算審査特別委員会の委員長報告は全て認定 本会議において全て満場一致で認定されました											

●11月臨時議会…議案64～66 ●12月定例会…議案67～72、請願3、認定1～8
※議長は裁決に加わりません

ここが聞きたい!



岡本 庄三 議員

カルフル・ド・ルポ印南前の町有地 「かえるの里」の分譲について

質問 来年度役場庁舎の近くに防災福祉センターが建設されます。公共的な役割をもった福祉施設として、社会福祉協議会の高台移転もあわせて対策であり、大きな効果を期待します。

このように、公的な役割を優先した計画的な施設の高台移転は今後も実施する必要がありますと感じるところであります。またそれに加え、民間施設の高台移転を誘導する施策の実施も必要と思います。そこで、お聞きします。

町有地である「かえるの里」の一部をクリニック、金融機関、商業施設等の一定条件を付し事業者等に分譲する考えはありませんか。

答弁 企画産業課長

現時点において民間への分譲というのはいきません。

質問 今後「かえるの里」の利活用については、どのような事が考えられますか。特に決定されていないのであるならば、全ての払い下げには無理があると思います。一部を分譲することとは可能と思いますが、いかがですか。

また、不可能であるのならば、それはどのような理由ですか、お聞かせください。

答弁 企画産業課長

現時点において民間への分譲というのはいきません。

けれども、さらなる土地利用の構想を吟味しながら、未来につなぐ印南町の構想をあのエリアでいくつかわかっています。

質問

今後、役場周辺については未来投資事業等の実施により農地の宅地化が進むものと思えます。その中でも、町有地である

「かえるの里」は一等地であると思えます。周辺の農地が宅地化されてくることを想定したこの土地の利活用についての方針や計画は執行部も考える必要があると思えますが、どのような考えをお持ちですか。やはり、盛土であるから現状維持が妥当ですか。利活用は難しいですか。

答弁 企画産業課長

公益的な事業者の高台移転というの、当然我々の検討課題の中には含まれていますし、そういう中では、例えば公共施設の中に個人の住宅があるというようなことではなく、長期総合計画の住民ニーズにもありますように、公園であったりとかあるいは文化施設等々、こういうことも考えの中にも含めながら、道を隔てたカルフル・ド・ルポ周辺の用地について、土地利用の構想を今考えているところです。





ここが聞きたい!

榎本 一平 議員

国保税の未就学児の均等割5割軽減に対し更なる拡充を

質問 国保税に関して2022年4月から新たな制度が始まります。国の制度として未就学児の均等割を5割に軽減するものです。

90億円の公費でまかなわれ、国が半分、県が4分の1、町が4分の1の負担となります。この新しい制度の対象世帯と人数はどのようになりますか。

答弁 税務課長

令和3年現在から令和4年4月1日現在の対象者は82名、今後5名程度の出生を予定しており計87名となります。

質問

子育てするなら印南町の立場を更に充実させるために残りの半分を町が負担してこの制度の充実を図っては、という提案です。見解を求めます。

答弁 税務課長

町独自での拡充は困難と考えます。

燃料高騰から町民の生活を支援する対策を

質問

燃料高騰が町民生活に影響をおよぼしています。当町はハウス栽培が盛んですが、農業用ハウスのボイラー燃料は重油ですが、1ℓ当たり60円〜70円だったのが、100円以上になっています。

私はトマト農家、豆農家、漁協、飲食業などをまわりそれぞれの実情をお伺いしました。どの分野でも負担が重くなり、町民の皆さんの生活が大変になっています。

国は11月21日に、自治体支援を発表し燃料高騰で影響を受けている生活者や農業者を支援するために燃料価格高騰対策に対し特別交付税を講じる、としました。この制度の活用や経済的

に困っている世帯に対し、ストープの灯油購入費の助成などを行うよう求めます。

答弁 住民福祉課長

対象となる生活困窮者の定義の対象となる世帯要件、対象経費の詳細や上限額などの情報収集に努めています。

庁内で助成事業の実施の是非を検討します。

危険な通学路の点検と安全対策を

質問

千葉県八街市で児童5人が死傷する、という痛ましい交通事故が発生しました。

印南町でも調査はされていると考えますが現状の安全対策はどのようになっていますか。

答弁 教育長

令和3年4月に学校、保護者、地域から合わせて50件。それから千葉県の事故もあり、緊急点検を行い危険箇所として14か所を現地確認し点検を行いました。

印南地区の町中に「ゾーン30」を新たに表記。切目地区の通学路変更に伴い緊急に横断歩道の新設。印小、山口地区の通学路は通学路の変更など行い、古井から清流中までの歩道は今年度中に工事にかかる予定です。



ここが聞きたい!



古川 眞 議員

地籍調査について

第1回定例会で地籍調査が令和3年度末で事業進捗率80・36㎓。町全体の76%程度になるとの説明でした。これについて質問します。

質問 今までの経過で、筆界未定は何筆ありますか。

答弁 建設課長

印南町の地籍調査事業は平成16年から実施し、国有林、水面等を除く105・87㎓を調査対象面積として実施しています。令和2年度末時点で、調査済み面積は70・4㎓。4万2650筆となり、筆界未定件数は59件、465筆で、全体の約1%です。

質問 今の回答で、59件というのは、他の町村と比べて多いのですか。

答弁 建設課長

単純に調査面積や筆数、さら

に調査区域が山林か宅地であるか、農地になるか等で進捗具合も異なり、単純に数を比較するのは難しいのですが、郡内でも今、地籍調査事業を継続している直近3か年の筆界未定の平均件数は約17件です。印南町は10件で特に多いということはありません。

質問 筆界未定になる主な理由は何ですか。

答弁 建設課長

筆界未定の約半数が土地所有者間による土地境界の意見の相違です。地権者には、地籍調査後に問題を解決するには一筆地の立会いや測量費用等の負担が生じます。

筆界未定の不利益、不都合を十分に説明し、再立会いなど問題解決に向けて取り組みを行っています。折りがつかない場合は筆界未定としています。

その他の理由は、土地所有者、および相続人の所在不明や不立ち合いの場合などです。

質問 私も地籍というのは所有者間で境界を決めて、それに対して町が線を引くということは理解しています。土地境界の意見の相違以外でどのような問題がありますか。

答弁 建設課長

筆界未定の件数が465筆で、そのうち意見の相違が242筆で、これが約52%です。その他の理由としては、

(1)土地所有者および相続人の所在が不明な件数が130筆。

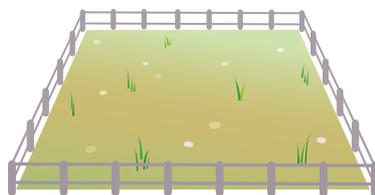
(2)土地所有者および相続人が立会いに来ない件数が72筆。

(3)造成等で形状が変更されていた件数が21筆。

質問 地籍調査後、住民の土地に関する相談窓口を設置する考えはありませんか。

答弁 建設課長

新たに窓口を設置することは必要ないと考えています。土地の境界を知りたい人が、建設課へ来たときは、一筆地付の境界が入った図面を提示し渡す業務もしています。





ここが聞きたい!

黒井 美晴 議員

高速4車線化事業後の一般道路の補修について

質問 一般道路の補修要望については、これからの協議と聞いています。3年間の区民の理解のもとに行われた事業です。現時点での補修の実施予定をお聞きます。

答弁 建設課長 国道425号及び県道、町道において、舗装の損傷した箇所について補修の工法や復旧範囲をNEXCO西日本および県と、今現在協議をしているところです。

質問 既に提出している区からの要望についての現在の進捗状況についてお聞きます。

答弁 建設課長 現在、来年1月中旬の施工をめどに、全面的な補修を行うよう依頼をしています。区からの

要望についても、現在協議を進めており、実施に向け取り組んでいきたいと考えています。

質問 今回の補修工事は、私たちの生活道路の補修工事であり、我慢の恩恵と考えます。

- ・トラック通行の騒音。
 - ・トンネル貫通、夜間工事による騒音。
 - ・工事車両通行によるストレスの発生。
 - ・梅農家へのほこり、天日干し障害。
 - ・交通事故への不安。
- 等、地域の方の我慢がありました。

よって、区からの要望(山口から明神川)に、期待に添える協議を進めて頂き、使う前よりもきれいな道でというのが区民の考えです。

特に横断歩道の引き直しについては、以前より学校から通学路危険箇所報告書で教育委員会に毎年提出しているにも関わらず、今回の補修箇所として実施される場所とされない場所があります。ライン消えの状況は同

じです。

本件のような道路に関する案件について、町建設課と町教育委員会との横の協議が常にされているかお聞きます。

答弁 建設課長 横断歩道やラインの塗り直しについては、道路管理者である県また公安委員会への要望となつてきますので、引き続き教育委員会と連携し、県に対し要望していきたいです。

子どもたちの教育活動について

質問 「各種学校教育活動補助事業」の校外活動費補助金を、補助基準の見直し及び現状1人千円に対する増額の検討をされてはいかがですか。

答弁 教育長

いろんな角度からいろんな活動に対して補助をし、支援をしており、現時点においては補助基準の増額の検討は考えていません。

質問 ボランティアで「えがおの居場所にし」の父兄の会を最近立ち上げられています。教育委員会として、何かお手伝いする立場で支援を検討されてはいかがですか

答弁 教育長 住民福祉課とも連携しながら、お話は聞かせていただきました。



委員会活動報告

総務産建常任委員会報告

◎木村 栄一 玉置 克彦
○岡本 庄三 片山 智文

谷 章資
堀口 晴生

◎委員長
○副委員長

今回、総務産建常任委員会では「印南町消防団の現状と課題」について総務課から説明を受けました。

【日時】

令和3年10月19日(火)

【場所】

役場3階 大会議室

〈説明員〉

総務課長 藁科 昌章
同課長補佐 久堀 剛

消防団は昭和32年8月に発足され、現在団員211人(定員225人)5分団29班で活動しています。昨今の災害の多様化(地震、台風、集中豪雨、竜巻等)・大規模化(南海トラフ地震等)が懸念され、消防団には消火活動に加え、救助活動・避難誘導・避難所運営支援活動等の多様な役割が求められます。

また、社会情勢の変化により、人口減少、高齢化に伴う担い手

不足(人員確保が困難)であることや、雇用体系の変化(被雇用者の増加)に伴い、平日昼間、青年・壮年・中年層が地域外に流出という課題が浮き彫りになりました。

今後、大規模災害発生を想定した消防団活動の推進、組織再編(統合)・広域化による効率的な組織体制の構築、女性消防団員の入団促進などが検討課題であり、消防団と協議しながら良い方向に進むよう考えています。

質問 新規入団者への研修と地元での勉強会はどのように行っていますか。

答弁 基礎訓練1日で、以前のように宿泊研修は行っていません。毎月2回の点検の際、訓練を依頼しています。

質問 昔と比べ道路網も整備されているので、班を統廃合でき

るのではないのですか。

答弁 事務局としては、効率的で合理的な班編制を行いたいです。何が適正かを検討していきます。今年度中に各分団のヒアリングを予定しています。

質問 退団する際、後任を探さないで辞められないと聞きますが、それは本当ですか。

答弁 入退団については各団に任せています。

質問 勤め人の団員の緊急時の対応についてはどうなっているのですか。

答弁 それぞれが会社に説明し、理解してもらい対応しています。

質問 実質動ける人数をヒアリングして定員数を見直してはどうですか。

答弁 必要な人数と団員の適正人数を比較して検討していきたいと考えています。

質問 自主防災組織と消防団との連携が重要と考えますが、いかがですか。

答弁 今後ワークショップの際には両者に参加してもらうなど、連携を考えていきたいと思えます。

(まとめ)

執行部や消防団から要望があればバックアップしていくというのが議会の務めであり、説明で各分団にヒアリングをするのとこの点なので、そのなかで問題点や課題が浮き彫りになれば委員会を開催し検討していきたいと思えます。

消防団は、印南町の住民の命と財産を守るという強い信念のもと日夜奮闘して頂いております。今後も印南町の安全・安心のためにご尽力賜りますようお願いいたします。

印南町内 社会人チーム紹介①

印南町社会人野球チーム 黒若



今年で結成20周年

葛 晃宏 (代表者兼主将)
星合 学 (監 督)

2002年11月に結成し、今年で20周年となります。これからも、30年、40年とずっと活動を続けられるように頑張ります。新型コロナウイルスの状況が落ち着いていけば、今年の12月に大阪ドームを借りて20周年記念試合ができればと思っています。

結成当初は日高郡の野球チームは数多くあり、たくさん試合ができましたが、年々チーム数が減っていき、試合数確保のため、2016年に県軟式野球連盟日高支部へ連盟登録しました。今年も連盟試合以外にもいろいろと大会を探して出場を予定しています。

黒若は、2002年11月に結成しました。結成時は少年野球チームの印南黒潮OBと山口若竹OBだけだったので、頭文字をとって黒若としました。現在は24名在籍しており、随時メンバーおよびマネージャーを募集しています。野球したい人なら老若男女、野球経験等は問いません。

主な戦歴

- 近畿春季軟式野球大会兼西日本軟式野球大会は、5年連続県大会出場
- 高松宮賜杯第65回全日本軟式野球大会県大会出場
- 令和3年の第76回近畿秋季軟式野球大会では、県大会で優勝し、近畿大会に初めて出場
- 日高支部長杯野球大会現在3年連続優勝

掲載チーム募集のお知らせ

裏表紙で紹介する町内の社会人スポーツチームを募集しています。
掲載を希望するチームは広報特別委員会までご連絡をお願いします。

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 前田 憲男 |
| 副委員長 | 中島 美洋 |
| 委員 | 黒井 美晴 |
| 委員 | 谷 章資 |
| 委員 | 片山 智文 |
| 委員 | 古川 眞 |